

スマートシティの実現に向けた技術提案書

提出年月日: R4 年 2 月 28 日

提案団体名: 日本モビリティ株式会社

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
日本モビリティ株式会社は、附属機関「次世代モビリティ社会実装研究センター」を有する国立群馬大学発のベンチャー企業であり、以下のような特長を持った自動運転に関する独自技術・総合的なサービスを提供し、その社会実装を目指しています。 ①当社の自動運転技術は、地域における特定路線、定型移動サービスに焦点を当てたコンパクトで効率的な自動運転システムであること ②当社の自動運転技術は、その適用可能な車種が小型の乗用車から、大型のバス、トラックまで多種多様であり、中古車両への後付けも可能であること ③当社の研究開発部門は、車両回りの技術に限らず、遠隔監視技術、先端通信技術、道路インフラ技術等を積極的に取り込んで自動運転システムを高度化できること ④当社の自動運転サービスは、自治体、交通事業者、地域まちづくり協議会等の地域性・個別性の高い要望に応え、独自技術を裏づけにその課題解決を提案するコンサルティングを含むものであること ⑤当社は、大学発ベンチャー企業という設立経緯を活かし多くの共同研究先、協力企業等を抱えており、自動運転の周辺技術、関連サービスを担う事業者ネットワークが存在すること ⑥群馬大学内での先行的な活動実績、会社設立後の事業実績は、全国の地方自治体、交通事業者、物流会社、地域団体等に及び、その総数はのべ60件を超えていること 当社の自動運転技術・サービスは、上記の特長を備えることにより相手先の地域特性に柔軟に対応できる、「まちづくり指向型」の自動運転技術・サービスと言えます。	(6)(1)～(5)を活用した応用技

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
スマートシティの実現により解決したい課題(都市・地域が抱える交通・モビリティに関する課題)として、当社は以下のようなものに効果的に対応することを目指しています。 ①スマートシティの重要な要素である地方自治体や地域の交通事業者による公共交通機関を、自動運転技術を用いることにより安全かつ持続的に運営すること ②高齢者、障害者をはじめとする移動困難者に対し、自動運転技術を用いることにより容易にアクセスでき、かつ利便性の高い移動手段を提供すること ③労働人口の減少に伴う旅客・物流事業者の運転手不足に呼応し、自動運転技術により現場の無人化・省力化を推進すること	(ア)交通・モビリティ

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
コンサルタント事業部	小木津 敏也	050-3131-1080	toshiya.ogitsu@nichimobi.com